【ログイン中のユーザ情報が表示され、運用管理システム「206. データの更新」ができない 場合の対処方法】

| エラーの概要

1. 新しい版数の提供後に年度版システムを起動しようとした際に、データの更新が行われていないため、以下のエラーメッセージが表示されます。



2. メッセージに従って、運用管理システムのメニュー「206. データの更新」を実行しようと すると、以下のメッセージが表示され、実行できません。

日 確認	7 2					>	
現在、 ログイ	他のユーザが本体システム ン中のユーザに連絡し、す	にログインしているため べてのユーザがログアウ)、データの更新は行えません。 りトしてから、再度処理を行ってください。				
ログイ	ン中のユーザは下記のとお	りです。					
行	事業年度	申告区分	データ名	ユーザID	直近のアクセス時刻		
1 2	2024/04/01 - 2025/03/31	四半期試算·期末試算	第1四半期	ect0002	2024/09/25 15:39:05		
			and a state of the second				
			OK				
						_	

Ⅱ エラーの原因

データの更新を行おうとしている対象年度の年度版システムに、ログイン中のユーザ 情報が残っていることが原因となり、データの更新を行えない状況です。

ログイン中の情報が残っているユーザ ID でログアウトするために、Web メニューからシス テムを起動すると、最新版のシステムをインストールしてしまい、上記 | 1.のメッセージ が表示され、堂々巡りとなります。

Ⅲ 対処方法

最新版へ更新前に利用していた版数のシステムを起動し、ログイン中のユーザ情報をクリ アすることで、システムに誰もログインしていない状態とします。そのうえで、最新版のシス テムから、運用管理システムの「206. データの更新」を実行します。

年度版システムが最新版に更新されていないPC(※1)がある場合は、<u>以下の1.の対処方</u>法(p.3~p.6)を行ってください。

※1 最新版の提供後に、Webメニューからシステムを1度も起動していないPCです。
 Webメニューからシステムを起動すると、最新版のシステムに更新されてしまうのでご注意ください。

すべての PC の年度版システムが最新版に更新されている場合は、<u>以下の2.の対処方法</u> (p.7~p.14)を行ってください。

1. 年度版システムが最新版に更新されていないPCがある場合

対象年度のシステムが最新版に更新されていないPCで、以下の作業を行ってください。

(1) ショートカットからのシステム起動

以下の方法で、データの更新を行う対象年度の年度版システムを、ショートカット(※)から 起動します。

- ※ Webメニューから年度版システムを起動すると最新版に更新されてしまうため、 ショートカットを作成して起動する必要があります。
- ※ ISOイメージファイルでシステムをインストールし、ショートカットからシステムを 起動している場合は、1.(1)の処理は不要なため、以下の1.(2)へ進んでください。

①e-TAX グループ通算の場合

 以下の exe を右クリックし、[送る] > [デスクトップ(ショートカットを作成)] を クリックします。

C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY¥eConsTax.exe ※「YYYY」の箇所は、対象のシステム年度の西暦です。

```
例えば、令和4年度の場合は、「GX2022」となります。
```

名前	^		更新日時		種類	サイズ
Temp			2022/10/25 10:59		ファイル フォルダー	
ATL90.dll			2015/09/01 18:52		アプリケーション拡張	158 KE
CT_GROUPINFO	開く(<u>C</u>)		1	XML ファイル	16 KI
CTAppInfo.xml	🎈 管理者	iiとして実行(<u>A</u>)			XML ファイル	1 KI
CTArgs.dll	Skype	で共有			アプリケーション拡張	32 K
CTBLozic.dll	<u>E</u> mEd	itor			アプリケーション拡張	76 K
CTCalc.exe	互換性	±のトラブルシューティング	(Y)		アプリケーション	32 K
CTCalc.exe.conf	スタート	- メニューにピン留めする			XML Configuration File	1 K
CTCommon.dll	📥 OneD	rive (に移動(<u>M</u>)			アプリケーション拡張	48 K
CTDtAcs.dll	7-Zip	_	>		アプリケーション拡張	32 K
CTDtCtrl.exe	CRC S	НА	>		アプリケーション	32 K
CTDtCtrl.exe.cor	H Micro	soft Defender でスキャ	ンする		XML Configuration File	1 K
CTDtCtrl.log	は、世有		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		テキスト ドキュメント	2 K
CTDtLock.exe	🐴 WinM	erge			アプリケーション	32 K
CTDtLock.exe.co	מרמ	icige パートピンのあすろ/V			XML Configuration File	1 K
CTIsUser.exe	レ新の	ハービーン面のする(人)			アプリケーション	36 K
🚯 CTIsUser.exe.cor		バーションの1g/L(<u>v</u>)		<u> </u>	XML Configuration File	1 K
CTLog.exe	送る(1	1)	>	8	Bluetooth デバイス	K
🚯 CTLog.exe.confi		(J)(T)		2	EmEditor	K
CTMethodExten	7ピー(0			FAX 受信者	K
CTPrm.dll	(FAX 受信者	K
CTResource.dll	ショート	·カットの作成(<u>S</u>)			デスクトップ (ショートカットを作成)	K
CTRLDATE2.TKC	削除(<u>D</u>)		4	ドキュメント	K
🔄 CTSys.ini	名前0)変更(<u>M</u>)			Xール受信者	K
CTZip.dll	プロパ	₹1(<u>R</u>)			圧縮 (zip 形式) フォルダー	KI
eConsTax.exe			2022/09/20 10:11	0		K
🗟 eConsTax_ss.ini			2022/10/21 16:54	_		K
ECTCTLDB.exe			2022/09/15 21:21		アプリケーション	4,163 K

- 2) デスクトップに作成された「eConsTax.exe-ショートカット」のファイルを右クリック し、[プロパティ] をクリックします。
- 3) [ショートカット] タブの [リンク先] 欄で、設定済みの以下の文字列の後ろに、半角

スペースと対象年度の西暦の4桁の数字を追加します。

(以下は例として令和4年度(2022)です。)

※ 以下赤字の箇所です。(半角スペースは]で表現しています。)

"C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GX2022\eConsTax.exe" 2022

4) [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックして [プロパティ] 画面を

閉じます。

🖞 eCon	isTax.exe -	ショートカット	のプロパティ			
全般	ショートカッ	ト 互換性	セキュリティ	詳細	以前のバージ	ヨン
Gr 割算	eC	onsTax.exe	- ショートカット			
種類:		アプリケーシ	∋ນ <mark>~eCo</mark>	nsTax.e	exe"の後ろに	Ξ.
場所:		GX2022	半角ス	ペースと	2022を追加	ルます。 √
リンクダ	ŧ(<u>I</u>):	es (x86)¥T	KC¥eConsTa»	(¥GX2022	¥eConsTax.ex	e" 2022
作業フ	オルダー(<u>S</u>):	"C:¥Progr	am Files (x86	i)¥TKC¥e(ConsTax¥GX2	022"
ショート キー(<u>K</u>)	・カット :	なし				
実行時 大きさ(きの (<u>R</u>):	通常のウィ	ンドウ			~
אעצב	•(<u>O</u>):					
77	マルの場所	を開く(<u>F</u>)	アイコンの変	ē更(<u>C</u>)	詳細設定	(<u>D</u>)

5) 当該ショートカットファイルをクリックし、対象年度の年度版システムを起動します。

②eConsoliTax の場合

手順は上記①と同様です。1)の exe は以下のパスであり、①とは異なります。 C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe

※「YYYY」の箇所は、対象のシステム年度の西暦です。

例えば、令和4年度の場合は、「eCT2022」となります。

(2) ログイン中のユーザ | Dの確認とログアウト処理

①運用管理システムのメニュー「206. データの更新」を押した際に表示される下記画面の

×

②以下のオンラインQ&Aをご参照いただき、ログイン中のユーザ | Dで、システムから ログアウト(※)をしてください。

※通信エラーやPCの強制断などでシステムを強制終了した場合は、実際には現在

ログインされていないが、ログイン情報が残っています。

ログイン情報が残っているユーザ | Dで対象のデータベースにログインし、システム を終了することでログイン情報をクリアできます。

もしくは、強制ログアウトの機能を使用し、ログイン中のユーザ情報をすべてクリア してください。

【ご参考】(二重ログイン)「指定されたユーザ | Dで、既にログインしているユーザがい ます。」の対処方法(0101498)

【ご参考】強制ログアウトの処理方法、使用目的及び注意点(0101423)

③必要に応じてログイン一時停止の処理を行います。

ログイン一時停止の処理は、一時的に親法人の担当者以外のユーザが、対象のデータに ログインできないようにする処理です。データの更新を行う場合は、他のユーザが処理対象 のデータ(=通常は最後に作成したデータ)に対してログイン一時停止を行うことで、デー タの更新が行えなくなることを防ぐことができます。

【ご参考】ログインー時停止の処理方法と使用目的(0101464)

(3) 最新版へのシステム更新

Webメニューからデータの更新対象の年度版システムを起動し、システムを最新版に更新 します。

※ISOイメージファイルをご利用の場合は、ISOイメージファイルからシステムを最新版に更新します。

【ご参考】 | SOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法(0101287)

(4) データの更新

運用管理システムにログインし、メニュー「206. データの更新」で対象年度を指定し、 実行してください。

■ /IIプラヴォナシフテルのTAV/IIプラウン	8日英語システル [2022年10日版]	×
(E) フル フロキャロフスフム(C・(AC))ル フロキバ ファイル(E) 表示(V) ヘルプ(H)	EULE (2022+10/11/2)	
I		
クループ通算申告システム		
e-TAXグループ通算		
 運用管理システム	2. データ管理	
1 基本特報	【年度更新】	
1. 367+181+8	201.年度更新	新年度の処理を開始する前に必ず実施してください。
0.00.0008	【データの作成と管理】	,
2. 7-98H	謳 グループ通算申告システム(e-TAXグループ通	
3. セキュリティ設定・ログの確認	 「データの更新」を行う年度を指定して	ください。
	年度: 常和4年度クループ	通复甲苦システム(e-TAKクルーブ通算)
	OH	(te)tel
	♥ 処理する年度を選択してください。	
		システムをバージョンアップした場合に実施してくだ
システムの更新方法の設定 (更新予定日の登録)	200. 3 30332.00	さい。 Convright(C) 2007-2022 IVC Comparation
		F10 88.7

2. すべての PC の年度版システムが最新版に更新されている場合

年度版システムが最新版に更新されてしまったPCで、以下の作業を行ってください。

(1) ログイン中のユーザ | Dの確認

運用管理システムのメニュー「206. データの更新」を押した際に表示される下記画面の ユーザ | Dを確認します。

Gr 酒用 硝	152				×			
現在、他のユーザが本体システムにログインしているため、データの更新は行えません。 ログイン中のユーザに連絡し、すべてのユーザがログアウトしてから、再度処理を行ってください。								
ログ・	イン中のユーザは下記のとお	りです。						
行	事業年度	申告区分	データ名	ユーザID	直近のアクセス時刻			
1	2024/04/01 - 2025/03/31	四半期試算·期末試算	第1四半期	ect0002	2024/09/25 15:39:05			
1								

(2) 対象年度のシステムDBの削除

以下のオンラインQ&Aの「I 対象年度のシステムDBを削除する方法」ご参照いただき、 データの更新の対象年度のシステムデータベース(DB)を削除してください。 ※ 当該オンラインQ&Aの【回答】欄の※3に、対象年度のプロダクトキーを確認する 手順があるのでお控えください。後でプロダクトキーの登録が必要になります。 【ご参考】システムデータベース(DB)の削除方法(0101621)

(3) システムフォルダの削除

「C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax」の直下にある以下のフォルダを削除して ください。

①e-TAX グループ通算の場合

以下イメージの青枠の4つのフォルダ

1)eCTCTRL

2)ectctrlverchk

3)GXYYYY ※(例)令和4年度版の場合は「GX2022」

4)gxYYYYverchk ※(例)令和4年度版の場合は「gx2022verchk」

```
※「YYYY」は、データの更新の対象年度です。(例)令和4年度版:2022
```

②eConsoliTax の場合

以下イメージの赤枠の5つのフォルダ

1)eCTCTRL

2)ectctrlverchk

3)eCTYYYY ※(例)令和4年度版の場合は「eCT2022」 4)ectYYYYverchk ※(例)令和4年度版の場合は「ect2022verchk」 5)etctYYYYverchk ※(例)令和4年度版の場合は「etct2022verchk」



(4) WMenu.ini の記述の削除

上記(3)で削除したシステム年度版の情報の削除です。 ①以下の.ini ファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。

C:¥Program Files (x86)¥TKC¥Shared Files¥WMneu.ini

	C:¥Program Files (x86)¥TKC¥Shared Files						
1	名前	更新日時					
:	🔄 WMenu.ini	2022/10/25 12:41					
i	Win11SQLReg.cmd	2022/07/14 15:21					
I	Win11SQL.xml	2022/07/14 8:30					
;	🍓 Win11SQL.exe	2022/07/14 15:48					

②以下の記述が残っている場合は削除して保存します。

1)e-TAX グループ通算の場合

以下の a.と b.の2つの記述を削除します。

a. 運用管理に関する記述

「[eCTCTRL]~lconIndex=0」の9行を削除します。

[eCTCTRL]

Title=連結納税システム 運用管理システム

ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\PConsTax\PCTCTRL\PCTMNGMN.exe

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\

AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C: ¥Program Files (x86) ¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

IconIndex=0

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

🗐 WMenu.ini - 火モ帳

ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H) Version=2019年07月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2015¥eConsTax.exe IconIndex=0

[eCTCTRL] Title=グルーブ通算申告システム 運用管理システム ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ Version=2022年10月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe IconIndex=0

|[eCT2019] |Title=令和元年度/連結納税システム |ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2019¥eConsTax.exe 2019 |EveNameYD=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2019¥eConsTax.exe 2019

b. 年度版に関する記述

「[GXYYYY]~lconIndex=0」の10行を削除します。

[GXYYYY]

Title=令和 Y 年度/グループ通算申告システム

ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GX\YYY\eConsTax.exe \YYY

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY¥eConsTax.exe ParamXP=YYYY DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GXYYYY

AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GXYYYY

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GX\YYY\eConsTax.exe
IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステムの西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
 ※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

WMenu.ini・メモ帳 ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H) IconIndex=0

 [GX2022] Title=令和4年度/グルーブ通算申告システム ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022¥eConsTax.exe 2022 ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022¥eConsTax.exe ParamXP=2022 DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022 AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022 Version=2022年10月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022¥eConsTax.exe IconIndex=0

 [AKR2022] Title=令和4年度法人電子申告システム(ASP1000R)

ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥ASP100008¥AKR2022¥AKRMAIN.exe 2022

2)eConsoliTax の場合

以下の a.と b.の 2 つの記述を削除します。

a. 運用管理に関する記述

[eCTCTRL]

Title=連結納税システム 運用管理システム

ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\ECTMNGMN.exe

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\

AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe IconIndex=0

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月

 WMenu.ini - メモ帳
 ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(Y) ヘルプ(H)
 Version=2019年07月版
 IconName=C: ¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2015¥eConsTax.exe
 IconIndex=0
 [eCTCTRL]
 Title=グルーブ通算申告システム 運用管理システム
 ExeName=C: ¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe
 ExeNameXP=C: ¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe
 DefDir=C: ¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe
 DefDir=C: ¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥
 Version=2022年10月版
 IconName=C: ¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe
 IconIndex=0
 [eCT2019]

Title=令和元年度/連結納税システム ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2019¥eConsTax.exe 2019 ExeName=VP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2019¥eConsTax.exe 2019

b. 年度版に関する記述

i)がeConsoliTaxの記述、ii)がe-TAX 連結納税の記述です。

i)「[eCTYYYY]~lconIndex=0」の10行を削除します。

[eCTYYYY]

Title=令和 Y 年度/連結納税システム

ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTYYYY\eConsTax.exe YYYY

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe

ParamXP=YYYY

DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTYYY

AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステム西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
 ※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

ii) 「[ETCTYYYY]~lconIndex=0」の10行を削除します。

[ETCTYYYY]

Title=令和Y年度TKC電子申告システム(e-TAX連結納税) ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe YYYY ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe ParamXP=YYYY DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTYYY

AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTYYY

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステム西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
 ※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

🖉 WMenu.ini - 火モ帳 ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 書式(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) ヘルブ(<u>H</u>) Space=471859200 Delete=C:¥Program Files (x86)¥tkc¥ET102021 [eCT2022] Title=令和4年度/連結納税システム ExeName=C:¥Program Files(x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022¥eConsTax.exe 2022 ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022¥eConsTax.exe ParamXP=2022 DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022 AppDir=C:¥Program_Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022 Yersion=2022年10月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022¥eConsTax.exe IconIndex=0 [ETCT2022] Title=令和4年度TKC電子申告システム(e-TAX連結納税) ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022¥ETCTMAIN.exe 2022 ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022¥ETCTMAIN.exe ParamXP=2022 DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022 AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022 Version=2022年10月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2022¥ETCTMAIN.exe IconIndex=0

(5) ISOイメージファイルから最新版へ更新する前に利用していた版数のシステムの

イントール

以下のオンラインQ&Aをご参照いただき、最新版に更新する前に使用していた版数の

システムを、ISOイメージファイルからインストールしてください。

ここでインストールいただく版数は、「最新版」ではないことをご注意ください。 上記(2)でメモしていただいたプロダクトキーをご入力ください。

【ご参考】 | SOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法(0101287)

- (6) 上記(1)で確認したログイン中のユーザ | Dのログアウト処理
 - ①上記(5)でインストールした最新版に更新前に使用していた版数のシステムを Windows の ショートカット(※)から起動します。
 - ※ Windows のスタートボタン>TKCシステム>令和X年度/グループ通算申告システム (eConsoliTax の場合は、「令和X年度/連結納税システム」となります。
 - ②念のため、上記(1)で確認したログイン中のユーザ | Dが、以下の画面でもログイン中と なっていることを確認します。

[各法人の処理状況の確認] ボタン>[TISC の処理状況] のタブで、[ログイン状況] 列が 「〇」になっているユーザ | Dを確認します。

※ [処理区分] 列が、当該ユーザ | Dが当該年度でログイン中の処理区分です。 四半期試算・期末試算や修正申告はログイン中のデータベースの可能性が複数 ございますが、ケース名は表示されません。

Er 名	- □ × - □ ×								×	
771H(E	77イル(E) 表示(V) ソール(I) ウィンドウ(W) ヘルデ(H)									
		ユーザ検索	最新情報	先頭行へ	最終行へ	いがり管理				
入力・	入力・計算状況 ワーキングシートの確定・解除 添付書類の作成状況 電子申告データの作成状況 電子申告の進捗状況 TISCの処理状況									
							処理状況確認日時	\$: 2022/10/:	25 (火) 13	: 47
íτ	ユーザID	ユーザ	名	所属会社名	ログイン状況	ログイン時刻	処理区分	電話番号	内線	^
19	ect9999	ect9999			×					
20			÷	÷	0	2022/10/25 (%	四半期・期末	08088188401	34335	

- ③以下のオンラインQ&Aをご参照いただき、ログイン中のユーザ | Dで、システムから ログアウト(※)をしてください。
 - ※ 通信エラーやPCの強制断などでシステムを強制終了した場合は、実際には現在 ログインされていないが、ログイン情報が残ってしまいます。ログイン情報が残って いるユーザ IDで対象のデータベースにログインし、システムを終了することでログ イン情報をクリアできます。

もしくは、強制ログアウトの機能を使用し、ログイン中のユーザ情報を全てクリア してください。

【ご参考】(二重ログイン)「指定されたユーザ | Dで、既にログインしているユーザがい ます。」の対処方法(0101498)

【ご参考】強制ログアウトの処理方法、使用目的及び注意点(0101423)

④必要に応じてログイン一時停止(※)の処理を行います。

※ ログイン一時停止の処理は、一時的に親法人の担当者以外のユーザが、対象のデータに ログインできないようにする処理です。データの更新を行う場合は、他のユーザが処理 対象のデータ(=通常は最後に作成したデータ)に対してログイン一時停止を行うことで、 データの更新が行えなくなることを防ぐことができます。

【ご参考】ログイン一時停止の処理方法と使用目的(0101464)

(7) 最新版へのシステム更新

Webメニューでデータの更新対象の年度版システムを起動し、システムを最新版に更新 します。

※ | S O イメージファイル(DVD)をご利用の場合は、 | S O イメージファイル(DVD)から システムを最新版に更新します。

【ご参考】 | SOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法(0101287)

(8) データの更新

運用管理システムにログインし、メニュー206 で対象年度を指定し、データの更新を行って ください。

■ グループ通算中告システム(e-TAXグループ通算)漏用管理システム [2022年10月版] - □ ×								
ファイル(E) 表示(V) ヘルブ(日)								
グルーブ通算申告システム								
e−TAXグループ通算								
運用管理システム	2. データ管理							
1. 基本情報	【年度更新】							
	201.年度更新	新年度の処理を開始する前に必ず実施してください。						
2. データ管理	【データの作成と管理】							
	📰 グループ通算申告システム(e-TAXグループ)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)						
3. セキュリティ設定・ログの確認	「データの更新」を行う年度を指定して	[ください。						
	年 度 : 帝和4年度グループ	通算甲苦システム(e-TAXグループ通算) ▼						
	01	< <u>**)til</u>						
	♥ 処理する年度を選択してください。							
システムの更新方法の設定	206.データの更新	システムをバージョンアップした場合に実施してくだ さい。						
(更新才定日の登録)		Copyright(C) 2007-2022 TKC Corporation						
		F10 終了						